

Estimation on Japanese Migratory Movement: A New Economic Geography Approach

Kentaro Nakajima*

2008年1月18日

概要

本稿では日本の人口移動について New Economic Geography (NEG) の構造モデルを用いて推定を行った。人口移動の推定において通常用いられている距離に応じた輸送費用を含んだロジットモデルは正確に地域の効用を顕示しないことが Nakajima and Tabuchi (2007) によって指摘され、彼らはその問題を克服しうるモデルを提示した。本稿は彼らの推定可能な人口移動モデルを利用し、さらにそのモデルに NEG からのミクロ的基礎付けを与えることによって人口移動の分析を行った。その結果、1982年から2002年にかけての日本について NEG 構造モデルはよくフィットすることが示され、market potential が人口移動に有意に影響していることが示された。さらにその得られた構造方程式のパラメタからは、日本の都市圏が持つ集積力は、非常にローカルなものであることが示された。

Keywords: Agglomeration; Market potential

JEL classification: R11; R23

* 東京大学大学院経済学研究科博士課程，日本学術振興会特別研究員，nakajima.kentaro@gmail.com，
<http://user.ecc.u-tokyo.ac.jp/~ee57015>